



中央大学学員会 熊本支部 会報

第6号

支部長挨拶

がんばれ！CHUO パート2

岩田 英志 (昭和51年卒)



一昨年は、熊本支部90周年で総会も大変盛り上がりましたが、昨年は、新型コロナウイルスで総会中止を余儀なくされ大変残念に思っております。

今年も、本来であれば6月に開催予定でしたが、コロナ感染が少しでも収まる時期を検討し、オリンピックの開催日の翌日の7月24日に延長を致したところでしたが、更に5月連休明けに熊本で1日1000人を超えるコロナ感染者が増え続き、熊本のワクチンの接種状況も5月12日の某新聞の情報では2回接種した人は1%しか満たしていないとのこと、そのよな中、政府が7月迄に高齢者接種を目指しているようで、9月中旬ならかなりの国民に行き渡るのでは、と三役

の方々と検討した結果ホテル日航さんにご迷惑をお掛けしましたが9月18日に再々延期をさせて頂くことになりました。皆さんには大変ご迷惑をお掛けしますがどうか御汲み取り下さいませ。

昨年から今年前半は何の事業も出来ておりませんので、今年はワクチン接種が進みコロナ消息した後は、楽しく、連携をもって魅力ある事業を展開して参りますのでどうかお力をいただければ幸いです

ところで、大学本部では、『中期事業計画』が着々と進んでおり、多摩キャンパスには、昨年春グロバル館と国際教育寮を併設した施設が完了、今年春には、学部共通棟が竣工しています。上京した折拝見いたしました。素晴らしい施設です。学内にはスターバックスもあり学生たちもキャンパスライフを満喫できる環境が整ったてきたなど感じています。

又、都心キャンパスのほうも、市ヶ谷の国際情報学部が一昨年学部開設をはじめ、2023年春に文京区茗荷谷に法学部全面移転になりますので、新

たな校舎が今年春着工致しました。

又、我々の時代(昭和47年入学)は、お茶の水校舎でしたが昔の校舎は保険会社に売却されおり昔の面影はありませんが、中央大学記念会館として(二コライ堂の隣)昨年まででありました建物を解体し、神田駿河台中央大学の証として新しい18階建のビルを昨年より着工しております。

ロースクールに、ビジネススクール、そして学員会の憩いの場、会議室、事務局などが入居する予定となっております。大変楽しみです。

中央大学、大村理事長はじめ法人の皆さん、久野会長と学員会本部の皆さん、教学の皆さんが一体となり「CHUO VISION 2025」に向けて頑張っておられます。我々も卒業生として未来の為、母校、中央大学に絶大な応援と支援をやっていこうではありませんか！ 昨年はコロナで寄付の案内が思うようにできませんでしたが、どうか厳しい中ではございますが、是非ともご協力の方よろしくお願いいたします。

昨年は、コロナで何もできませんでしたが、今年目標は、昨年同様「中大ビジョン2025の支援」と「学員力の拡大(絆)」です。

又皆さんと仲良く、楽しく、三方よしの精神で活動してまいります。

(有)西銀座会館
(有)オフィス・リジン

代表取締役

荒木 誠也

(昭和44年卒)

公認会計士・税理士
京都大学 経営管理大学院
特命教授

吉永 茂

(昭和42年卒)

熊本県文化協会名誉会長
九州産業交通
ホールディングス(株)

顧問

吉丸 良治

(昭和41年卒)

岩本俊雄税理士事務所

所長

岩本 俊雄

(昭和40年卒)

中長期事業計画と母校の近況

学校法人中央大学
理事長 大村 雅彦



一昨年、熊本支部が創設90周年を迎えられてから早2年が経過しました。その節は会報において、熊本支部の皆様へのお見舞いと感謝、そして安田征史元支部長の思い出を申し述べることができました。今回は、大学の近況について詳しく書かせていただきます。

中央大学の「中長期事業計画」は6年目に入り、さまざまな事業が具体化してきました。2019年に国際経営学部と国際情報学部が開設され、3度目の新入生を迎えています。法学部の都心移転も確定し、文京区の丸の内線茗荷谷駅のすぐ隣に新法学部棟を今建設中です。駿河台記念館は解体が終わり、その跡地で、ロースクールとビジネススクールおよび学員会本部を収容する新棟の建設に着手しました。他方、多摩キャンパスでは、昨年春のグローバル館(Global Gateway Chuo、国際寮とも接続)の竣工に続き、今春、学部共通棟(Forest Gateway Chuo)が竣工しました。いずれも、グローバル化とダイバーシティを推進する多摩キャンパスの新たな拠点となる施設です。これで2年後に法学部の都

心移転が実現すると、多摩キャンパスと都心キャンパスに勢いが生まれ、ほかの学部も含めて大学全体が活性化することが期待されます。

中央大学の大変革を図ろうとするそのような時期に、タイミング悪く、新型コロナウイルスの感染が広まりました。昨年は、大学の卒業式も入学式も急遽中止となり、授業もオンラインによるリモート授業に切り替えられました。とりわけ新入生には大変気の毒なことでした。今年は、卒業式も入学式も、感染予防対策を講じつつ、ほぼ通常通りの形で行うことができました。桜の花の下で新入生たちの初々しい姿をみることでできたのは嬉しい限りです。授業も、リアル授業とオンラインを適宜組み合わせで行う予定となっております。今年1年間かけて、徐々に平常の姿を取り戻していきけるのではないかと思います。

少子化が一段と進むなか、大学も中学・高校も大変厳しい時代を迎えています。我々は自己改革を推進し、より魅力的な教育・研究機関を目指さなければ、この荒波を乗り越えることはできません。そのために私も微力を尽くす覚悟です。熊本支部の皆様のご支援・ご協力をお願いします。ご健康を祈念申し上げます。

白門魂で困難を突破しよう！

中央大学学員会
会長 久野 修慈



中央大学白門会熊本支部の皆様、新型コロナウイルス禍の厳しい環境の中、大奮闘されて居られますこと心からお慶び申し上げます。

白門熊本支部各位に於かれましては熊本地震、大水害の中を乗り越え、新型コロナウイルスに白門魂を結集し心からお互い助け合い励まし合いますこと白門同志愛以外にないと思います。今年はその中で熊本支部学員の坂本哲志先生が内閣府特命担当大臣にめでたくご就任されたこと白門熊本人の誇りであり母校の誇りであります。坂本大臣は熊本白門魂をその強い信念と郷土愛のもと発揮され、心悩む国民の先頭に立ち、白門魂を発揮されて居られますこと真の熊本人、白門人として尊敬の至りであります。弊方の親友に亡き川上哲治氏が居り、戦後のプロ野球の復興を熊本人としての強い信念で背負い国民、多くの野球ファンに勇気と励ましをもたらした、戦後の復興に喜びと夢を与えて頂いたことを思い出しましたが、その姿こそ熊本人の生き様、信念であったと存じます。それを思うに熊本人の皆様その強い

人間性と信念のもと100年に亘り心を注がれてこられた熊本白門会学員のお姿も同じであり、その心の結集こそ熊本支部そのものだと思えます。今新型コロナウイルス禍、国民、学員の皆様も大変なご苦労を背負って居られますが白門熊本学員の皆様には白門魂のもと、この困難を克服し結集され、発展への道を辿られて居られますこと、感動の至りであります。

大学もこのような環境下、学生への支援を強化すると共に新たな大学の強化や都心展開、駿河台校舎の再開発などに積極的に取り組んで居り、新しい発展へ力強く進んで居ります。詩人ゲーテが「困難という言葉ほど簡単な言葉はない」と言い残して居りますが川上哲治氏がその困難に挑戦したように白門学員心を合

わせ、この困難を突破し幸せで力強い社会を作り出したいと存じます。熊本支部は全国253支部の中で昭和10年に創立され今や創立100年に向け学員協力し岩田支部長のもと活動されて居られますと共に大学へ暖かいご協力を賜って居りますことと感佩の極みであります。この長きに亘り白門熊本県支部を支え活動、発展されて来られた各役員、学員の方々に心から感謝申し上げます。今後熊本白門魂のもと一層結集発展されますことをご祈念申し上げます。

「少欲知足」の旅

松本一喜社労士・中小企業診断士事務所
松本一喜(昭和46年卒)



昭和42年春、中大受験のため上京。大型登山リュックの背中に太字で「中央大学」と書いている。(名称詐欺?) 受験後は、槍ヶ岳、穂高岳へ直行。二部へ入学し、2年間は働いて働いて学費、生活費を必死にためる。2年間は、70年安保で講義は少なく、お茶の水校舎の2階から、いすや机が落ちてくる有様であった。3年時、二部から一部へ転部試験に合格する。井上教授をはじめ会計学、経営学を深く学ぶことができた。大手企業に就職するも、サラリーマン向きでなく自立の道を探る。開業して44年。まず海事代理士を開業し、船舶登記、建設機械抵当を扱う。大手造船所や重機メーカーの代理人契約により猛烈な忙しさであった。陸へ上がるために、中小企業診断士、社労士、行政書士の資格取得。ISO審査員や支援機関となり、職員10数名を抱え、全国を慌しく仕事する。

病床時、横浜出身早大卒でNHKを経て、熊本の民放に在籍された石橋さんと出逢う。この時、石橋さんは風呂敷いっぱいの仏教書を持参され、私はひたすら読み耽る日々が続いた。仏教との出会いを頂いた。石橋さんは私の師である。もう一人の師、日本で最初の人事賃金制度を導入された楠田丘先生である。10年間追っかけをやり、免許皆伝を頂いた。熊日新聞事業社の講師や九州産交問題の時、人事制度や幹部研修に関与した。坂口先輩や山内先輩との出逢いである。国立熊本高専で非常勤講師を長年務めたのもご縁であった。後輩の伊東君から熊本県社労士会の再建を依頼され、会長として8年間、財政基盤の確立、組織運営の目途がつき退任。これを機に全ての役職を辞する。また、伊東君から四国歩き遍路に誘われ、毎年1月頃に7、10日間歩くようになった。現在13年目で2巡目である。熊本震災時は、中小機構の「復興支援アドバイザー」として被災地に行き、生活支援、事業再生支援に従事する。講師として一貫してきたことは、「教育の要諦は魚を与えることではなく、魚の釣り方を教えること」この一点であ



あった。ライフワークとして15年続いている経営者を対象とした「松本塾」。10年続いている論語、仏教等を学ぶ「素心塾」がある。平成28年12月に最期の奉仕として「あすなる保育園」を開園し、園長となる。仏教書を読む中で「少欲知足」の言葉に出逢う。ストレスを抱え、病を得ていたことに気付く、「少欲知足」によりストレスが軽減され心穏やかな日々が送れることに気付く。72才ともなると若者、後輩達との交遊が増える。伊東君、長井君、成松君等の会食は楽しみの一つである。今後の職業人生は、経営学、経済学、労働問題を更に深めること。少欲知足の精神で「人間は病気で死ぬのではない。寿命で死ぬのである」寿命が尽きる迄、生き抜いていくのみ。20年続けている5時からの早朝ウォーキングと、新聞5紙を読むことの幸せを噛みしめながら!

荒木公認会計士事務所

公認会計士・税理士

荒木 幸介

(昭和53年卒)

合資会社 橋本商店

代表社員

橋本 和久

(昭和53年卒)

東良政税理士事務所

税理士

東 良政

(昭和52年卒)

税理士法人 未来税務会計事務所

代表社員

西田 尚史

(昭和47年卒)

卒業証書なき経営者として

株式会社アスクメンテナンス
井上 清明(昭和44年入学)



私は、熊本市南区田迎五丁目を本社とする株式会社アスクメンテナンスというビルメンテナンス会社を営んでいます。と言っても白門会の名簿にはありません。昭和四十四年法学部政治学科に入学しましたが、三年半在籍した後勝手に卒業しました。つまり中退しました。弊社の顧問税理士の本田勝範先生から、突然有無を言わせぬ原稿依頼を受け、中央大学に在籍したということだけで本原稿を書いています。弊社は、現在熊本県を中心に福岡・鹿児島・宮崎でパート社員を含み七百名の従業員で清掃・設備管理・マンション管理・建築の業務を行っています。

私は、熊本で司法書士事務所勤務後、昭和五十八年四月一日に現在の会社に入社しました。創業者ではありませんが平成元年八月代表取締役社長に就任しました。その後創業者と経営方針をめぐって意見の対立を契機に、平成九年、金融機関の協力を得て、創業者の全株式を取得、退職金を支払って名実ともオーナー社長となりました。その間昭和六十年から平成十二年まで

社団法人熊本県ビルメンテナンス協会の理事、平成七年から十二年まで同協会会長を務めるとともに、平成元年から十一年まで社団法人全国ビルメンテナンス協会九州地区本部役員、平成三年から八年まで同本部総務委員長を務め、業界活動に力を尽くしてまいりました。その結果、環境整備功労者として平成十七年熊本県知事表彰、十九年厚生労働大臣表彰を受賞することができました。これだけを見ると順風満帆の経営を続けてきたように感じられると思いますが、利益と借入金返済のバランスが取れず資金繰りに追われる日々が続きました。

リスケジュールの依頼に奔走し、借入金取引のあった三つの金融機関と熊本県信用保証協会との間でバンクミートイニングを行い、本田先生のお力も借り、キャッシュフローの正常化に努めた結果、ここ数年は増収増益の会社に生まれ変わることができました。

弊社には営業がいません。受注のほとんどが口コミ・紹介・指名で、価格競争はほとんどしたことはありません。

平成十二年「日本で一番ありがたいの言葉をもたらせる企業になろう」を目標に掲げ、全社員頑張ってくれた結果だと思っています。



令和三年三月期決算は、コロナ禍の影響はあったものの、過去最高益を更新する見込みですので、過去初めての決算賞与を支給し、社員の頑張りに応えたいと考えています。

大学は中途半端な気持ちで退学しましたが、お客様に恵まれ、社員に恵まれ、多くの関係する人々に恵まれ、本当に運がよかったと感じています。これからは、七十歳の老骨に鞭を打って、「いい会社」にすべく頑張つてまいります。

今まで受けたご恩をお返しするため

アステア税理士法人

代表社員税理士

千田 基史

(昭和63年卒)

株式会社ライフ
プラザパートナーズ

ファイナンシャルアドバイザー

河崎由紀夫

(昭和59年卒)

九州電子株式会社

代表取締役社長

北澤 永通

(昭和58年卒)

グランツ株式会社
印刷・デザイン

代表取締役

吉田 秋正

(昭和56年卒)

後期高齢者のひとり言

熊本市くまもと工芸会館
宅野 雄二郎(昭和44年卒)



大学卒業後、志とはかけ離れたマスメディアの道を歩み、退職後、これまで夢見た世界と全く異なった異次元に足を踏み入れました。この定年後の世界で「老い」と「未経験な仕事」に直面、それまで味わったことのない「青梅を食する」苦しみが続いています。

熊本市南区川尻にある「熊本市くまもと工芸会館」の館長として、川尻町に足を踏み入れて今年で十五年。大半を報道・制作畑で過ごし、「民間の親方日の丸の温室育ち」の小生にとって、確実に高齢の道を辿っている匠たちが作り出す伝統工芸品を「後世に残すお手伝いが出来れば」と引き受けたもの



延寿寺

の、それは余りにも浅はかな決断でした。

川尻町は、歴史と史跡の町、水運で開けた町、工芸職人町などで広く知られます。しかし、明治十(1877)年の西南戦争では、川尻町が薩摩軍の兵站、補給基地となり、町全体が病院と化した事が良く知られていません。東京から西南の方向で起きたことから西南の役、丁丑之役と言われ、熊本城の攻防、植木、高瀬、吉次、田原坂等の激戦は余りにも有名です。西南戦争では、政府軍、薩摩軍合わせて一万四千余人が死亡、この内の七割が熊本県内で亡くなっています。

川尻町史に、「町に十五寺あり」と記されています。この中で、薩州墓のある寺と言われるのが、建久八(1197)年に建立された無動山延寿寺です。桜の花びらが舞う毎年四月、境内に県内外からのお年寄りが参集した「西南の役薩摩戦没者慰霊祭」です。百回を超える慰霊祭には、鹿児島、宮崎両県の戦没者遺族のみならず、多くの川尻町民が参列します。

西南戦争の時、三太郎越えの別府・桐野隊ら先発隊と人吉経由の西郷隆盛率いる本隊が、薩摩街道の要衝川尻で合流、二月二十二日、土族を中心とした一万三千人(熊本隊等を含む)が北上、熊本城を総攻撃、本格的な戦いが始まります。戦いの中、薩摩軍は、植木や熊本市内などに出張病院を設け、重傷者を兵站基地の川尻町に運び手術や治療を施します。町では、延寿寺を川尻病院本院として医療活動を始めますが、戦傷者が増えると、町の寺院、商家から農家に至る百十八か所が野戦病院となります。町全体が救護所になったのです。そして、病院や前線からの戦死者が出始めると今度は、埋葬

が問題になります。

当時の延寿寺の第三十代住職伝弘師は、「賊名を被つても死者を成仏させ、供養をするのが僧の務め」とし、広い寺領を提供、亡くなった薩摩兵士たちを埋葬、弔います。延寿寺が薩州墓のあるお寺と呼ばれる所以です。埋葬された薩摩軍戦没者の墓標を書き写した名簿が北海道図書館に残されています。これによれば、亡くなった薩摩兵は、八百二十四人ですが、延寿寺の記録では八百五十三人となっています。

伝統工芸品とは、その「地域に芽生え、育まれた生活用品」で、国民全員で守るべきでしょう。しかし、私は「その地域」をよく知らずに、川尻町に足を踏み入れ、今も「町の歴史、史跡を学ぶこと」を余儀なくされています。田舎から上京した学生時代に、東京の物見遊山に明け暮れず「もう少し勉強に励んでいけば」と後悔、コロナ禍とも闘う日々が続いています。

*西南戦争、薩摩軍歩兵の二月十五日から西郷隆盛らが戦死した九月二十四日とされます。



加勢川と川尻

アリオン法律事務所

弁護士

宮崎 耕平

(平成13年卒)

株式会社 上田商会

代表取締役

上田 修司

(平成5年卒)

司法書士
峰松英明事務所

司法書士

峰松 英明

(平成2年卒)

新産住拓株式会社

代表取締役社長

小山 英文

(平成2年卒)

中大と酒と私

株式会社熊本放送
大村 和央(平成6年卒)



入学した1990年当時は受験情報誌や大学パンフレットぐらいしか情報がなく、イメージだけを膨らませて白門をくぐりましたが、「東京に来たのに熊本より田舎かも」と豊かすぎる自然に少々がっかりしたのは正直なところです。しかし広大なキャンパス同様、そこは可能性をどんどん広げてくれるフィールドでした。本業はお世辞にも優秀ではありませんでしたが、憲法、アメリカ政治論、行政法、犯罪学、社会学等々興味を越くまに履修。専門ゼミは最も惹かれたマスメディア論の多田実先生に学びました。多田先生は中大の先輩でもあり、読売新聞で論説



多田先生を囲んで

委員、政治部長を務められた生粋のジャーナリスト。学徒出陣で硫黄島に出征し、戦闘で負傷するも運よく一命を取り留められた経験をお持ちで、言葉の重みがありました。太平洋戦争と戦後の日本政治を見続けてきた先生の教えは「本質を見抜け」だったと思っています。ゼミではPKO自衛隊派遣問題、テレビのCMはなぜ音が大きい？新聞の見出し調査など硬軟様々なテーマを議論しました。昼は熱く真面目に、そして楽しみはゼミ後の飲み会。もう閉店しましたが、高幡不動駅前の「真澄」という居酒屋が私たちのいきつけで、ひたすら酒を酌み交わし夜遅くまで楽しくしゃべっていました。濃厚な時間を共に過ごしたゼミの先輩方、仲間は今も折に触れ気安く集う一生の宝です。

学生生活のもう一つの柱が「グループH」という一見怪しげな名前のサークルでの活動でした。後で聞けばヒューマンの頭文字のHでしたが、まさに人間くさいマスコミ志向の学生が集っており、主宰が中央大学の名物職員だった小谷哲也さん。都会の空気を求めて、毎週中央大学駿河台記念館まで出かけ、ひたすら文章を書きまくっていました。もちろん神保町での飲み会がセットでして、私の学生生活は主に酒がベースにあったのは間違いありません。その仲間との飲み話で「オーロラを見に行きたい！」と盛り上がり、アラスカをキャンピングカーで巡る旅を企画。学内で参加者を募り、2年の夏、総勢16人でアンカレッジを出発し11日を掛けてフェアバンクスを経由し

アンカレッジに戻る旅をしました。3台のキャンピングカーに分乗し、運転を代わりながら1日に何百キロも走破。360度見渡す限り続く地平線や地の果てまで伸びる1本道、突然姿を見せたグリズリーやヘラジカ、氷河にアメリカの雄大さを感じ、ステイキやハンバーガーの大きさに驚愕。メインの目的であるオーロラはキャンプをしながら贅沢にも毎夜のように見ることが出来ました。この年は気象条件が良くオーロラの当たり年だったよう初めて海外旅行でいい経験が出来ました。中央大学での4年間は、「充実」の一言に尽きます。



アラスカで見たオーロラ

本田税理士事務所



税理士 **本田 勝範**
(昭和52年卒)

〒861-2234
熊本県上益城郡益城町古閑551-5
TEL 096-289-0990

**熊本銀行
白門会一同**

**肥後銀行
白門会一同**
会長 **塚崎 隆之**
(平成2年卒)

ラグビーと共に

株式会社O.A.ブランニング
中田 慎二(平成20年卒)



皆様こんにちは。平成20年文学部卒の中田と申します。現在は、株式会社O.A.ブランニングで複合機・PC・サーバー・UTMといったオフィスに必要な商品の販売やリース、保守メンテナンスを営んでおります。

私は、プロラグビー選手を引退するまでの6歳から28歳までの22年間、ラグビーというスポーツをさせていただきました。小学生の時にラグビーのコーチをしていただいていたのが中央大学O.B.の森本先輩であり、その後、九州学院高等学校に進学して担任になったのが中大O.B.の米田先生であり、さらに実業団の日野自動車(現在トップリーグ)に入社した際にとってもご贖肩していただいた藤本専務も中央大学ラグビー部O.B.でした。それからCANON(トップリーグ)にプロ契約で移籍するにあたり私を推してくれた方も中央大学O.B.の方でした。34年の人生を振り返った時に中央大学O.B.の方々に大変お世話になっており、その方々との出会いがなければ今の自分はないのではないかと感じております。今後も皆様よろしくお願

たします。

さて少し中央大学時代の話をさせていただきますと、4年間ほぼ寮からグラウンドの往復の日々でした。学業の方は、単位を取るが大変で先生に名前を憶えてもらう為に前の席に座ってできる限り出席し、テストの点数は常に悲惨ですがどうかこうにか4年で大学を卒業することができました。大学生活は、寮生活ということもあり人生で一番濃い日々を過ごしたおかげで、全国に沢山の友達ができ人生が豊かになったと感じております。そして、ラグビーというスポーツの経験から個人の力と組織の力、リーダーシップ・フォロワーシップ、両方会社に必要ということを学ばせていただきました。今後、コロナ禍の中で日々の生活が制限されておりますが、年に1回の中央大学熊本支部の総会・懇親会を楽しみにしております。



支部だより 《佐賀支部》

中央大学学員会 佐賀支部
支部長 金ヶ江 重綱



新緑が鮮やかな、清々しい季節となりましたが、貴支部におかれましてはコロナ禍の中で支部の皆様一致団結してこの難局に立ち向かわれていることと拝察申し上げます。熊本支部の皆様には御付き合いを戴き感謝しております。特に故尾池副会長様、同期の故安田副会長にはご指導を頂き、九州の支部の発展に共にご尽力ですが努力させて頂きました。佐賀支部も昨年三月の学術講演会が中止になり総会始め全ての事業が中止となりました。学員には葉書とメールで情報を連絡し役員会を出来るだけ開催し役員の交流をしております。十月には、白門オンラインミーティングが開催されて、九州地区からは岩田支部長と私が参加しました。大学・在校生・学員会・各支部の現状が報告されました。皆さんも大変な努力をされてまして、我が支部もまだまだ努力が足りない事を痛感しました。十月二十五日は佐賀県の自民党佐賀県支部連合会の大会が開催されました。自民党の二階幹事長がお見えになる情報を得まして、佐賀支部の飯笹統括副支部長にお願

いしアタックを致しました。セミ

ナーの貴重なお時間をさいて、佐賀支部の役員の皆にセミナーの前に熱心にお話を、また、名刺の交換もさせて頂き役員一同、感動致しました。二階幹事長を校歌とエールで大会にお見送り致しました。その後佐賀支部の役員さんも積局的に役員会に参加して頂いてます。弊支部は、一昨年に平成・令和の会を設立し若手の皆様にも、活動し易く努力をしております。佐賀支部の総会も九月十一日開催です。コロナも少しも状況が落着いていけばよいのですが。是非お出掛け下さい。

熊本支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。状況が好転すれば、熊本支部総会にも出席させて頂きたく



二階幹事長を囲んで

特集
現役の
学生声

なりたいたい自分を目指す

商学部商業貿易学科
3年 山本 雄大

新型コロナウイルスによる一度目の緊急事態宣言の発令から約一年が経とうとしています。慌ただしい生活様式の変化に翻弄されているうちに、四年間の大学生活もあつという間に折り返し地点を迎えました。今回は、依然として猛威を振るう、見えない敵に怯えながらも、なりたいたい自分を目指し日々奮闘する私の大学生活について紹介させていただきます。

私は、大学進学とともに上京するにあたって、大学生活を終える頃自分はどういう人間になっていきたいかという目標を二つ決めていました。一つは、社会に出た際すぐに活躍できる人材になること。もう一つが、生涯続けられる趣味を見つけることです。



ものにするため目標を掲げたはいいものの、いざ大学に入学してみると、慣れない一人暮らしやそれまでとは大きく違う学校の形式など、大変なことばかりでした。しかし、一年生の終盤には少しずつ日々の生活にも慣れてきて、ようやく上に挙げた二つの目標の達成に向け動き始めることができました。具体的には、法人営業のインターンを始め、それと同時に、同じ熊本出身の大学の友人と共に始めたゴルフにのめり込んでいきました。

高校生までに比べて一気に自由が増える大学生の期間をより有意義なものにするため目標を掲げたはいいものの、いざ大学に入学してみると、慣れない一人暮らしやそれまでとは大きく違う学校の形式など、大変なことばかりでした。しかし、一年生の終盤には少しずつ日々の生活にも慣れてきて、ようやく上に挙げた二つの目標の達成に向け動き始めることができました。具体的には、法人営業のインターンを始め、それと同時に、同じ熊本出身の大学の友人と共に始めたゴルフにのめり込んでいきました。

一回の打ちっぱなしと月に一回のラウンドが、息苦しいコロナ禍での生活のリフレッシュになっていきます。

この四月からはよいよ三年生になります。大学の授業は今まで以上に専門的なものになり、就活も始ま

特集
現役の
学生声

コロナ禍での大学生活

法学部政治学科
3年 西島 永記

熊本の高校を卒業して、新境地で大学生活を送ることになった私は一人暮らしという環境の変化に充実した日々を送ることができると不安しかありませんでした。また、4年間大学に通うことで、4年後に自分は成長できているのか、自分を支えてくれた人に対して期待を裏切っていないかというプレッシャーを感じることもありました。それから2年が経ちますが、そこには予想もしていなかった大学生活が待っていました。



ります。新型コロナウイルスにより先が見えない状況ではありますが、これからも一日一日、少しでも成長できるように、時にはゴルフで気分転換しながら、なりたいたい自分を目指して頑張っていきたいと思っています。

大学1年生では、交友関係を広げることや大学生活に慣れることを意識して過ごしました。学業に関しては授業についていけないかと不安を抱えていましたが先輩方のサポートのおかげによりスムーズに学業に励むことができました。その学業では政治学やガバナンス論などを履修しました。政治学では近代国家の基礎を概観し、民主政治の運用について学び、ガバナンス論では国家の成り立ち、政府の役割を知識として得ました。ゼミではLGBTと良いコミュニケーションを築くために私たちに何ができるのかを考え、実際に交流会に参加して様々な意見を取り入れることができました。サークル活動では高校の先輩が所属しているフットサルサークルに所属し、合宿や大会に参加して仲間と共に熱く闘う姿に高校の部活のような一体感を感じることもありました。1年生で

は自分が想像していた以上に大学生
活を充実させることができました。

2年生では1年生で履修していた
科目をより深く学びたく、交友関係
ももっと広げたいと期待に胸を膨ら
ませていました。しかし誰も予想し
ていなかったコロナウイルスが大流
行し、これからの過ごし方に不安な
日々が続きました。そして2020
年4月に緊急事態宣言が発令され、
大学側は対面での授業を行うことは
困難と判断し、オンライン授業へと
切り替わることになりました。教授
も生徒もオンライン授業という初め
での試みに緊張感が漂う時もありま
した。機器のトラブルによりスムー
ズな授業を毎日受けられることは困
難であり、全く授業ができない時も
ありました。

私は熊本出身でもあるので、2年
生では水俣病について学ぶゼミに所
属しました。中学生の時に水俣病を
学んでいたのですが、このゼミでは
裁判や訴訟を通して水俣病という公
害問題がどのように解決されてきた
のかを様々な視点から学びます。本
来であれば実際に水俣に行き、当事
者から話を伺う予定だったので中
止になったのでリモートでの討論が
中心となった授業でした。

コロナ禍における変化は授業だけ
ではなく、サークル等の活動も停止
になったので友達と会う頻度も1年

生に比べてかなり少なくなりました。
大学へ通わず自宅で授業を受け、
自粛期間を自宅で過ごす日々が続く
ことに何か物足りないような寂しさ
がありました。どうにかコロナウイ
ルスが収まり、本来の学生生活に
戻って欲しいと願うも感染者は増え
る一方で、厳しい措置を取らなけれ
ばならない状況が続きました。この
ような厳しい状況が続いた1年間で
振り返ると2年生は納得のいく大学
生活を送ることができなかったのか
もしれません。



我らが母校中央大学は新しく生まれ変わります。

中央大学は中長期事業計画「Chuo Vision 2025」に取り組んでいます。詳細は同封の「白門飛躍募金」のパンフレットをご高覧の上、一口でも二口でもご寄付くださいますようお願いいたします。



2023年、法学部が文京区の新キャンパスに移転
(完成イメージパース図)



多摩キャンパス再整備計画
「FOREST GATEWAY
CHUO」建設
2021年度供用開始



「グローバル館・国際教育寮」
の建設
2020年度供用開始

中央大学での大学生生活

熊本日日新聞社
山下 泰弘(平成9年卒)

平成9年法学部政治学科卒の山下泰弘と申します。現在は、熊本日日新聞社総務局に勤務しております。今回、会報第6号の発行にあたり、紙幅を割っていただけるということで大変恐縮しておりますが、せっかくの機会ですので中央大学で過ごした学生時代を振り返ってみたいと思います。

1993(平成5)年4月、胸躍らせて中央大学に入学しました。1、2年次は語学(ドイツ語)でのクラス分けでしたが、そこで付属校出身、自宅通学、地方出身、年上とさまざまな友人ができ、ヒルトトップの「四季」や「スエヒロ」を溜まり場にしたり、私の家で宅飲みしたりとあつという間に大学生活を満喫するようになりました。入学当初は、相模原市橋本の親戚宅に居候だったので、あまり家に居たくなく、休みの日も図書館で勉強するほど学校に通っていましたが、1年の夏に府中で一人暮らしを始めた後は、授業からは足が遠のき、比例して成績も下がったことは想像に難くありません。サークルは、小1から剣道をしていたこともあり、「中大剣影会」という

剣道サークルに所属しました。体育会の中央大学剣道部は名門で、私の学年の全国インターハイ1、3位が全員来ていたほどで、そちらへの入部はさすがに腰が引けました。ただサークルとは言え、各大学の剣道サークルや学部内剣道部が参加する大会が多数あり、モチベーション高く取り組むことができましたし、剣道サークルなのになぜか冬にはスキー合宿があったのも魅力の一つでした(笑)。

3年次には、授業もサボりがちで、サークルがメインのようになっていましたが、卒業にも関わってくるため、ゼミにはしっかりと出席していました。私が所属したのは、今村都南雄教授の「行政学」ゼミで、現在(2021年4月時点)、内閣府特命担当大臣(少子化対策・地方創生)である坂本哲志先輩も所属された学部内では有数のゼミでした。教授も先輩も熱く、日本の政治システムや地方自治論について学び、侃々諤々の議論を戦わせていたことが思い出されます。3年の後半からは、就職活動が始まりました。行政学のゼミだったこともあり、公共性の高い仕事に就きたい思いがあり、新聞、テレビ、運輸・交通、生活インフラなどの業界を、場所は選ばず活動しました。ただ、将来的には熊本に帰ることも頭にあったため、それならば最初から熊本でと考え始め、縁あって熊本日

日新聞社に就職することができました。熊日では、新聞広告や主催イベントを担う部署、東京支社、総務局で勤務しましたが、熊本に密着したニュースや情報、イベントを発信することで、県民生活の一助になっていることを実感できる場面もあり、学生時代の思いを具現化できているなあと思っています。

駆け足で大学生活を振り返ってきましたが、文章を書き進めるにつれて学生時代のさまざまな体験や思いがこの間のように思い出されました。これを機会に、初心に立ち返り、仕事はもとより日々の生活をより充実したものでできればと思います。そのなかで、中央学員会の活動も熊本での楽しみの一つです。今後とも、何卒よろしくお願いたします。



随時会員募集中!!

ライオンズクラブ国際協会 337-E 地区 1Z

熊本白門ライオンズクラブ

当熊本白門ライオンズクラブは、中央大学の学員会に所属する者だけで構成される全国でも珍しいライオンズクラブです。入会して新しい人脈を広げてみませんか。

〒860-0041 熊本市中央区細工町1-51 スコーレビル2F TEL 096-312-6300 FAX 096-312-6503







心をそっと
癒してくれる、
太陽と海の
スパリゾートホテル。

ホテルアレグリアガーデンズ天草
Tel. 0969-22-3161
〒863-0001 熊本県天草市本渡町広瀬996



錦戸企業グループ
代 表

錦戸 保介

(昭和42年卒)



Gelato Icebar

肥後もつこす本舗

いつの時代も笑顔のお供に、
変わらぬおいしさを
お届けします。





肥後太鼓

第24回 全国菓子博覧会
栄誉大賞受賞










おかげさまで創業72年。 **株式会社 岩田コーポレーション**

代表取締役社長 **岩田 英志** (昭和51年卒)

【本社】 熊本市北区和泉町168-18 フードパル熊本内 TEL.096-245-5211
【あなたがたごき事業部】 TEL.096-245-5220



企業サイト



おかげさまで60周年

熊本大同青果株式会社

代表取締役社長

月田 潔 孝

(昭和59年卒)

宅地建物取引士

〒860-0058 熊本市西区田崎町484
TEL 096-323-2500 FAX 096-323-250

日替わりのお弁当を
会社やご自宅に...

一食からお届けします。

(株)ピライ 給食宅配サービス

おいしいな ぎゅうしょく

0120-047-949

S60年卒 平井 謙丞



定期総会の延期について 支部長 岩田 英志

本年度の定期総会の開催につきまして、7月24日の開催に向け、準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、右記の通り延期することを決定いたしました。

8月には改めて総会のご案内をいたします。今後とも、引き続きご協力をお願いいたします。

令和3年度中央大学学員会熊本支部総会
令和3年9月18日 (土曜日)

夢げく

名湯南阿蘇温泉郷
ホテル夢しずく・別邸蘇庵

阿蘇五岳が一望できる、抜群のロケーション。
阿蘇山麓のふもとにあり、約3000坪という広大な敷地を誇るリゾートホテル。
この機会にゆったりとした癒しの時間を是非楽しんでください。

バラエーション豊かな新しいかたちの温泉街を創出

高客室には、
それぞれの異なる
「半露天風呂」を
ご用意

両館のご予約・お問い合わせは ホームページからもご予約頂けます

☎0967-67-4555 www.yumeshizuku.jp 夢しずく 別邸蘇庵 検索

〒869-1411 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字阿蘇字小野5-56 (アソノバス) 阿蘇山麓から、九州自動車道、益城熊本空港ICを降り、阿蘇くまもと空港方面へ30分、→大分方面から/大分市内からの国道57号線で熊本方面へ。

Dream これからのニューノーマルとなる「新生活様式」を盛り込んだ住まい。

ヨコパルホーム & アイウッド アイウッドグループ

代表取締役 福永 力三 (昭和44年卒)

〒862-0916 熊本市東区佐土原1-3-15 (第2空港線沿い) **TEL.096-368-8111** ☎0120-096-255

E-mail: info@ai-wood.net 住まいの最新情報を配信中! <http://www.ai-wood.net/> **アイウッド** 検索

■一級建築設計事務所1715号 ■社団法人 日本木造住宅産業協会会員 ■宅建築免許熊本県知事 (14) 第785号 ■建設業免許 (特-2) 第2144号 ■一般社団 熊本県優良住宅協会 会員

株式会社 シアーズホームグループHD

代表取締役 丸本 文紀 (昭和53年卒)

本社/熊本県熊本市南区馬渡2-12-35 TEL096(370)0007

